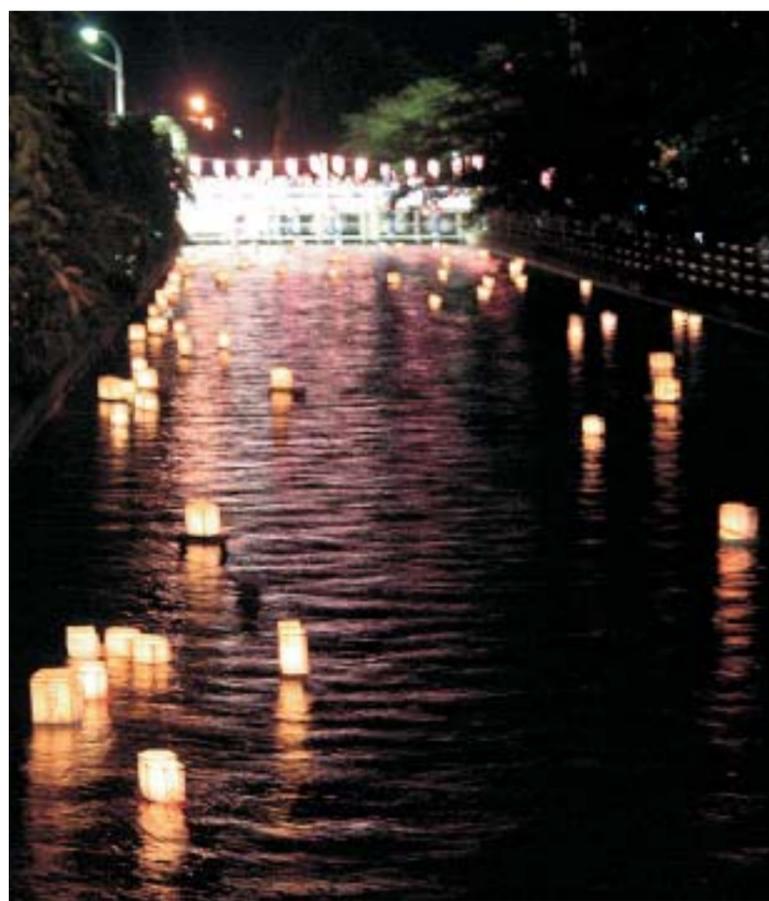




過ぎゆく夏 灯ろう流し

8月16日に灯ろう流しが稲生川で行われました。約3,000人の市民が見守る中、先祖供養や家内安全などの思いを乗せた約500個の灯ろうが流されました。ほんのりと川面を照らす灯ろうに、辺りは幻想的な雰囲気になり、来場者は過ぎゆく夏に想いを込めていました。今回の灯ろう流しは稲生川上水150周年を記念して、太素顕彰会が36年ぶりに復活したものです。太素顕彰会の石川正憲会長（十和田商工会議所会頭）は「大勢の市民に来てもらい良かった。川の流れの速さなどを改善して今後も続けていきたい」と意気込みを話していました。



自然の色を身近に体験 和田湖公民館講座 草木染講座



7月26日から始まった草木染教室。「草木染」は植物などを使って、衣類などに色を添える技法です。第1回目は、ハーブでシルクマフラーの染色を体験。やわらかな新緑の色に染めあがり、参加者たちは思い通りにできたと喜んでいました。

緑の中で おはなし会



8月1日に市民図書館中庭で、本に少しでも親しんでもらおうと開催されたおはなし会には夏休み中の子ども約50人が集まりました。語りべや琴の調べによるコンサート、大型絵本による物語が始まると、子どもたちは目を輝かせて見入っていました。

昔の洗濯体験をしてみよう 旧笠石家住宅のくらし体験会



8月17日に十和田湖民俗資料館で体験学習会「旧笠石家住宅のくらし体験会～水運びと洗濯～」が開催されました。参加した子どもたちは、少し前までは各家庭で行われていた、かつぎ棒による水運びやタライによる洗濯などを体験。電気や水道が普及する以前の暮らしの大変さを実感していました。

北里大学 夏休み短期体験学習



8月1日・2日に東公民館で企画した夏休み体験学習が行われました。北里大学獣医学部の教授を講師に、小・中学生30人は犬の目の健康チェックをしたり、見えない微生物の生態について、顕微鏡を使って調べたりしました。参加者たちは普段体験できない動物や自然などの科学について学び、観察の目を養いました。



シャーレに微生物を植え付けて観察



企画展が大好評! どうぶつおはなし会

8月3日に現代美術館で、企画展「ワット! どうぶつ What? アート展」の関連イベント「どうぶつおはなし会」が行われました。休憩スペースには、出展作家本山ひろ子さんの絵が飾られ、出展作品にちなんだお話や、昔語り・大型絵本などの読み聞かせがあり、多数の参加者が聞き入っていました。

BONおどりフェスタ



暑い夏の風物詩、中央商店街のBONおどりフェスタが8月8日・9日に5丁目路上と中央商店街駐車場で開催されました。会場には浴衣姿の家族連れが集まり、カラオケ大会や盆おどり、北里三源色やとわだ、馬花道によるよさこい演舞などの催しが行われ、集まった市民を楽しませました。また、来場者には流しそうめんが振舞われ、親子連れがおいしそうに食べていました。



5丁目路上で行われた盆おどり